

# MEIJI MURA

明治村だより

Vol.73 2013 Autumn



CONTENTS

産業革命と明治村の歴史資料 ..... 2

明治村 写真コンテスト紙上展覧会 ..... 6

秋の催しもの ..... 8

A La Meiji-mura ..... 10

ご案内

明治村「いいね!」

博物館明治村 公式Facebookページを公開しました。

アドレスは <https://www.facebook.com/meijimura>  
公式WEBウェブページと併せて是非ご活用ください。



『おとなさんぽ ゆるり明治村きっぷ』

名鉄電車全線+犬山駅~明治村間のバス  
1DAYフリーきっぷ

明治村  
入村券

= 3,300円  
(小人の設定はありません)

入村チケットと  
電車&路線バスの  
セット券が新登場!!  
期間限定!

明治村 村営バス(乗り放題)と  
抹茶(和菓子付)

発売場所/名鉄出札係員配置駅(弥富、赤池を除く)  
名鉄名古屋駅サービスセンター  
期間 平成25年 9月21日~12月1日

秋の明治村へお出かけの際には是非ご利用ください。

『犬山浪漫券』好評発売中!!

区 分 通常料金 セット料金

大人	2,100円	▶ 1,800円
大学生	2,100円	▶ 1,600円
シニア(65歳以上)	1,700円	▶ 1,400円
高校生	1,500円	▶ 1,000円
小・中学生	700円	▶ 600円

販売場所/犬山城・明治村の入場券販売窓口  
犬山城と明治村を結ぶ、無料シャトルバス『犬山浪漫号』  
を運行します! 9月21日~10月6日の土・日・祝日 運行  
●運行ダイヤ  
犬山城発 9:40 11:00 12:20 14:20 15:40  
明治村発 10:20 11:40 13:40 15:00 16:20

●明治村 開村時間 ~10月31日/9:30~17:00 11月/9:30~16:00 12月/10:00~16:00

表紙について



新富座本普請落成初興行看客群集図 梅堂国政 画  
明治11(1878)年  
新富座は明治8年、守田座を改称し建てられたが、翌年火災に遭い、  
明治11年に新築になった。劇場内にはガス灯が設備された近代的な  
劇場であった。客席の升席上部、格天井にはシャンデリアが吊り下げ  
られているという、伝統的な劇場の様式の中にも洋風の意匠が加味  
された劇場の様子が描かれている。



秋園の菊花 楊州周延 画  
明治21(1888)年



遊園紅葉之図 楊州周延 画  
明治21(1888)年

平成25年9月13日発行  
『明治村だより』第73号(平成25年 秋)

発行 博物館明治村  
〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地  
電話(0568)67-0314  
<http://www.meijimura.com>

製作 株式会社DNP中部

『明治村だより』第74号発行のお知らせ  
発行時期 平成25年12月中旬(予定)  
申込方法 『明治村だより』第74号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記  
の上、送料140円切手とともに封書にてお申し込み下さい。



# 産業革命と明治村の歴史資料



皆さん産業革命という言葉を目にする「教科書」に載っていた、どこか遠い存在のように思われているのではないのでしょうか。実は産業革命の影響は意外なほど身近なものでした。今回は博物館明治村に所蔵されている資料を通して知ることができる「産業革命」をご紹介します。

産業革命の第一歩は、機械織り機（織機）から始まります。機械織り機の生産性が高まったことから、それまでの人力によっていた動力が、水力や蒸気機関などへと変化していきます。

## 一 織機

機械織りと言って真っ先に思い起こすのは民話「鶴の恩返し」ではないでしょうか。罫にかかった鶴を助け

たお爺さんのところへやってきたきれいな娘が部屋に籠もって美しい布を織ります。「トントン バットン」「トントン バットン」と娘が部屋で布を織っている様子が描かれています。初期の手機はその形態から地機、高機（写真1）などと呼ばれています。地機は機を織る人が地面に座って自分の腰で、機を支えて布を織ります。そのため現在では紬や絹など伝統的織物産地で使用されるほかは、目にすることが少なくなっています。高機になると、織り手が腰掛けて織ることができるようになり、作業効率が上がります（図1）。さらに拍車をかけたのが、「飛び杼」（バットン）（写真2）と呼ばれる、紐を引っ張ることで杼を飛ばすことができる装置の発明です。これはイギリスのジョン・ケイによるものです。飛び杼が発明されるまでは、織り手は右手で右から左へ杼を飛ばし、杼を左手で受け、右手で箆（おき）を持ち横糸を打ち込み、次に左手で左から右へ杼を飛ばし、右手で杼を受け、左手で箆を持ち横糸を打ち込むという作業を何回も繰り返して、反物を織っていました。ジョン・ケイの発明した飛び杼は、糸を通す箆の両脇に簡易な箱状のもの（杼箱）を取り付け、紐を引っ張ることで杼箱に取まった杼が飛ばされる一方の杼箱に収まるといったものです（図2）。これまでの杼とは異なり、杼の下側にローラー状のものが組み込まれ（写真3）、杼が自走するようになっていきます。そのため織り手は以前のように杼と箆を持ち替えることなく、右手は紐を引っ張り、左手で箆を打つという、とても単純な作業となります。なおかつそれまでの作業効率に比して三倍とも七倍とも言われるスピードで反物を織

ることができるようになりました。

機械織りは今日では一般的に行われているものではありませんが、高度経済成長期頃までの日本においては農家等の主婦の農閑期の仕事とされていたところが多く、日常着である木綿の衣服は自宅で織られた布を用いて作られたものが多かったと言われます。このように身近にあった機械織り機に産業革命の技術革新の痕をみることは、とても興味深いことではないでしょうか。



写真3 (上) 杼、(下) 飛び杼用の杼

## 二 紡績

博物館明治村に移築されている鉄道寮新橋工場・機械館（写真4）の中には、洋式紡績の機械と、国内で考案された機械が展示されています。

洋式紡績の機械では、綿紡績の機械として世界を代表するメーカーであるイギリスのプラット社製の、梳綿機（写真5）、練篠機（写真6）、粗紡機（写真7）、リング精紡機（写真8）、そして羊毛紡績に使用したミュール精紡機（写真9）の五つの紡績機械が展示されています。特に綿紡績に使用された四つの機械はいずれもイングランド中北部マンチェスター近郊のオールドナム

（Oldham）にあったプラット社製のもので、綿紡績の主な工程を示すことができる重要なものです。特に最終工程のリング精紡機はイギリス製の機械ですが、日本の近代化を支えた重要な産業機械であることが評価され重要文化財に指定されています。

イギリスで綿紡績の機械が多く製作されたのは、十八〜十九世紀にかけてイギリスが東南アジアを中心に各地で支配した植民地で多くの綿の原料となる綿花が収穫できたことが理由の一つに挙げられます。

綿花に始まる産業革命は、次第に新たな動力を用い、工作機械や繊維機械などの分野においても大きな進歩を遂げます。

その一翼をになつたのが一八五一年ロンドンで世界に先駆けて開催された「万国博覧会」です。ロンドンのケンジ

必要性を感じ、イギリスに端を発した産業革命は諸外国へも広がりをみせていくことになりました。一八五一年に開催されたロンドン万国博覧会以降、ヨーロッパでは十九世紀末は「博覧会の時代」と異名がつけられるほど



写真4 鉄道寮新橋工場・機械館



写真6 練篠機（プラット社 1907年製）

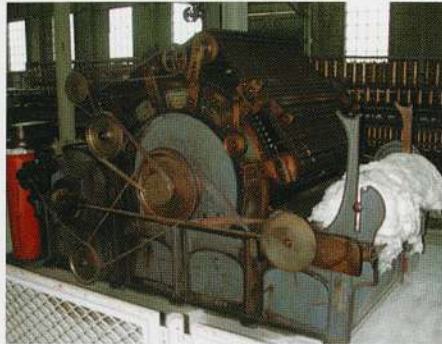


写真5 梳綿機（プラット社 1896年製）



写真8 リング精紡機（プラット社 1893年製）



写真7 粗紡機（プラット社 1896年製）



写真9 ミュール精紡機（ハルトマン社 1909年製）

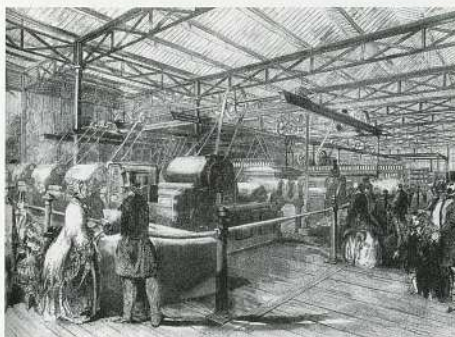


写真11 ロンドン万国博覧会の水晶宮に展示された機械

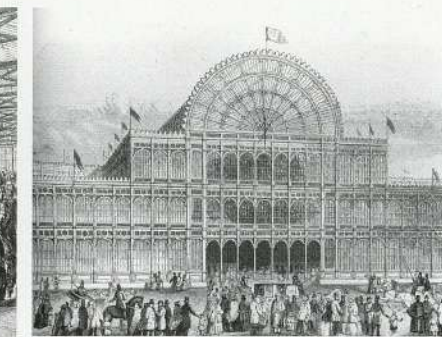


写真10 水晶宮（クリスタルパレス）



写真12 大日本内国勲業博覧会開場式之図(楊州周延画 明治10年)

に大いに刺激を受けました。そして、時代が移り、明治になると、明治政府は「殖産興業」を旗印のひとつに掲げます。

明治政府は、一八七三(明治六)年のオーストリアのウィーンで開催される博覧会において、オーストリア政府より参加要請を受け、国を挙げての参加を表明しました。政府は出展するだけではなく、技術伝習生と呼ばれる製織や製陶などの職人を同行し、博覧会終了後リヨンやボヘミアなどそれぞれの先進地域で技術を習得させました。

さらに、国力を高め、産業を興し、それぞれの技術力を競わせ、切磋琢磨させるため、明治十(一八七七)年、日本国内の博覧会、内国勲業博覧会が上野公園を会場に開催されました(写真12)。そこで出品されたのが「ガラ紡績機」(以下、ガラ紡と記す)(写真13)です。ガラ紡は綿から直接糸を紡ぐ、シンプルな機械です。ガラ紡を発明したのは、信濃国出身の臥雲辰致です。



写真13 ガラ紡績機



写真14 水車式ガラ紡績機(鈴木次三郎製)

ど、各地で博覧会が開催されます。幕末にヨーロッパに渡った人々も、博覧会場を訪れ、その技術力の高さを驚かされました。臥雲は足袋の底に使う織物が盛んな地域で育ち、それまでの手作業による綿紡績にかかる労働力をなんとか軽減させられないかと、苦労を重ねた結果、独自の紡績機を生み出します。これがガラ紡です。ガラ紡はブリキ製の円筒の中に詰められた綿が、上部に置かれた糸巻きに送りかけながら巻き取られていくものです。内国勲業博覧会で多くの人の目に留まったガラ紡は、少ない労働力で、手紡ぎに比べて質の高い製品が大量に生産できることから、急速に広まっていきますが、シンプルさゆえ、多くの模倣品が製造されることとなりました。蛇足ながら、この第一回内国勲業博覧会にガラ紡を出品した臥雲辰致は、当時特許の制度がなかったため、多くの人に模倣され、発明者として何の利益も得ることができませんでした。このことが、「特許」制度制定につながり、特許制度は明治十八(一八八五)年に制定されました。

初期のガラ紡は手回し式で、百鍾にも満たない小規模なものでしたが、次第に水力を利用し、百鍾を超えるものまででてくるようになります。特に愛知県三河地方では矢作川流域で盛んに行なわれるようになりました(写真14)。

### 三 鉄道

明治政府が積極的に採用したものの一つに

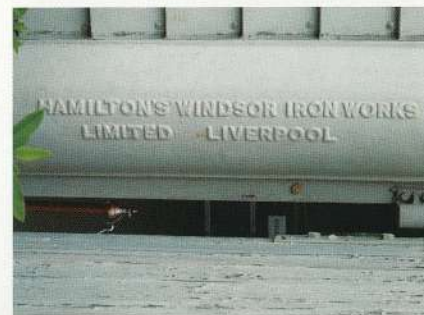


写真15 鑄鉄柱の刻印



写真16 蒸気機関車12号

「鉄道」が挙げられます。十九世紀末、ヨーロッパ各地にも鉄道が広がりを見せますが、やはり蒸気機関発明の地であり、蒸気機関車が実用化されたイギリスの技術力は高く評価されていたとともに、日本政府へも積極的な売り込み活動を展開していました。幾多の困難の末、明治五(一八七二)年に開業した日本の鉄道はイギリスの技術力に支えられています。エドモンド・モレルをはじめとする技術者、蒸気機関車、機関車を整備する工場の建物などすべてがイギリスからもたらされたものです。鉄道開業時に新橋駅構内に建てられた鉄道の工場は現在明治村に移築され、「鉄道寮新橋工場・機械館」として皆さんにご覧いただけます。そこに使用されている鑄鉄柱の刻印に目を遣ると「HAMILTON'S WINDSOR IRON WORKS LIMITED LIVERPOOL」(写真15)という文字を読み取ることができます。産業革命により、多くの鉄製品を製造することができるようになったイギリスは販路を求め、日本に売り込みに来たのではないかと、容易に想像が付きまします。

また明治村内を走っている蒸気機関車十二号(写真16)は、鉄道開業二年後に輸送力増強のため、追加輸入されたもので、「Sharp Stewart & Co Ltd」とその銘板に記載されているイギリス製機関車です。さらに日本初の複線式鉄橋として建設された六郷

### 四 燈台

川鉄橋も、イギリス人エンジニアのボイルの設計により、鉄道寮新橋工場と同じHAMILTON'S WINDSOR IRON WORKS LIMITED LIVERPOOL製の鋼材が使用されています(写真17)。

最後に燈台についてご紹介します。徳川幕府はフランスと契約を結んでおり、一番最初の観音崎燈台から四つの燈台はフランス人技術者の指導によって建てられました。明治村に移築されている品川燈台はその一つです。フランス人燈台技術者が設計した証で灯蓋の上に載っている風見は今日私たちがよく目にする「N」「E」「W」「S」ではなく、「N」「E」「O」「S」とフランス語の頭文字で現れています(写真18)。その後、明治政府に代わると、鉄道と燈台はともに「工部省」の下に置かれた寮の中に位置づけられ、ともにイギリス人技術者の指導の下、建設、運営が行われるようになります。品川燈台に隣り合って建てられている「菅島燈台付属官舎」(写真19)はイギリス人のお雇い外国人リチャード・ブランドンによるものです。



写真17 六郷川鉄橋のプレート



写真18 品川燈台の風見

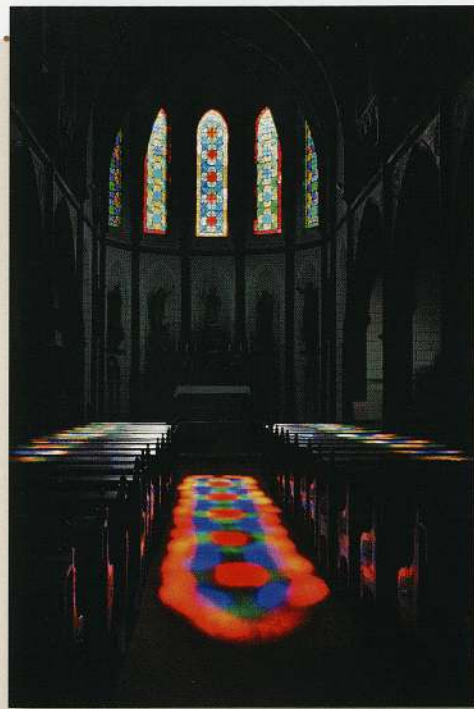


写真19 菅島燈台付属官舎

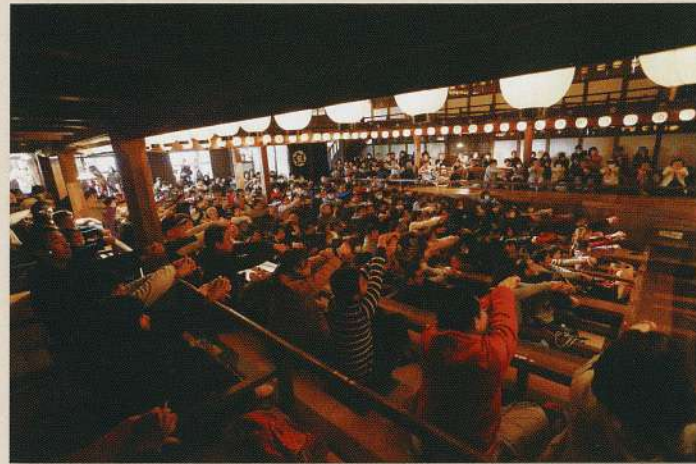
教科書の中だけの言葉と想っていた「産業革命」。実は身近なもの、のルーツを探ると、「産業革命」に突き当たるものが数多くあります。一度そんな目線で明治村を巡ってみてください。きっと、新しい発見の旅となることでしょう。

これらの入賞作品は平成25年9月21日(土)～12月1日(日)、東山梨郡役所2階で展示されます。

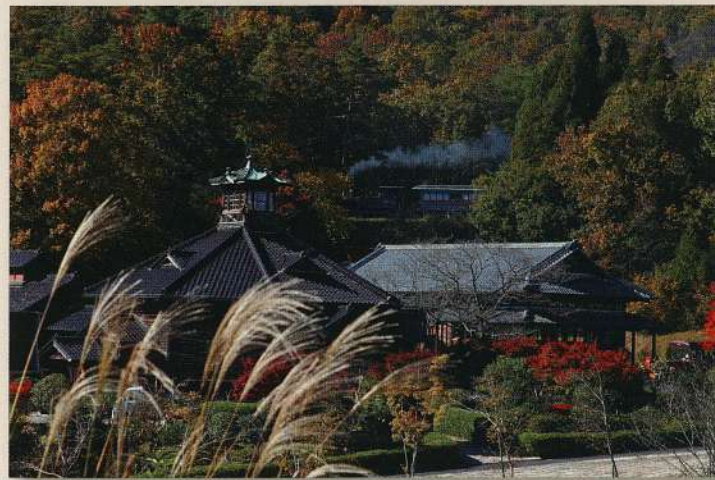
特選



「光芒(天使のはしご)」馬場 美知子



「みんなで不思議発見!」吉田 信隆



「待ちわびた蒸気機関車」玉置 良宗



「絵かきさん」村松 義喜

### 明治村写真コンテスト「明治村百景」募集要項

- テーマ: 明治村を表す作品  
明治村の四季折々の美しさや賑わい、明治村を楽しむ人々の心温まる風景やイベントの様子
- 応募期間: 平成25年7月1日(月)～平成26年6月30日(月)
- 規定: 詳細は専用チラシ・HPをご覧ください
- 締め切り: 平成26年6月30日(月) (当日消印有効)
- 表彰式/写真展: 平成26年秋を予定
- 主催: 博物館 明治村
- 応募先: 〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地 博物館明治村写真コンテスト係

●賞: 明治村大賞	1点
賞金10万円/記念品/賞状	
明治のある風景賞(建物や村内の風景を収めた写真)	2点
鉄ショット賞(SLや京都市電など乗り物の写真)	2点
フェスティバル賞(村内で開催されたイベントの写真)	2点
村でのひととき賞(村内で過ごす人物主体の写真)	2点
季節のうつろい賞(季節を感じられる写真)	2点
特賞: 賞金2万円 入選: 賞金1万円(各賞1点ずつ)/記念品/賞状	
富士フィルム賞	5点
ハクバ写真産業賞	2点
CAPA賞	2点
審査員特別賞	10点
記念品/賞状	

賞や賞品等について予告なく変更する場合があります。

大賞



「光のページェント」山浦 敦資

明治村写真コンテスト  
紙上展覧会

推薦



「教会の印象」鈴木 安子



「夜華」南出 清志



「風雲 急を告げる」横座 アリサ

# 秋の明治村



## 日本最古に 乗ろう!

100年以上の歴史を有する乗り物の機能美や、ノスタルジックな雰囲気を感じてください。

### SL客車内展示「新宮の街と鉄道」 期間中

客車ハフ13・14の両客車が新宮鉄道で製造され昨年百年。林業で栄えた新宮の街と鉄道のかかわりを車内で展示します。

■開催日：9月21日(土)～12月1日(日)

※見学にはSL乗車券が必要です。また運休日にはご覧いただけません。



### ④ チンチン電車と綱引きしよう!

事前電話予約制

明治村の中を元気に走る京都市電を、電力を使わず、みんなで力を合わせて動かそう!

■開催日：9月22日(日) 10月19日(土)

■時間：11:00

■会場：京都七条駅

■対象：小・中学生 (小学校4年生以上)

■定員：各日30名



### ⑤ ハフ de ランチ

事前電話予約制

蒸気機関車12号に連なる客車ハフ11の車内で、デミカツサンドウエッチのランチはいかがですか?

■開催日：9月28日(土)、29日(日)

■時間：12:25

■定員：16名

■料金：1,300円(入材料別途必要)

### ⑥ SL車掌体験

事前電話予約制

SL転車作業や出発合図など蒸気機関車の車掌体験できちゃいます!

■開催日：10月12日(土)、14日(祝)

■時間：10:30～16:10のSL東京駅発車時間

■料金：500円(入材料別途必要)

■対象：小・中学生 (小学校4年生以上)

■定員：各日20名(※各発車時間2名ずつ)

### ⑦ SLバックヤードツアー

事前電話予約制

通常では立ち入ることのできないSL車庫内を特別公開。SL機関士のおすすめ撮影スポットなども紹介します!

■開催日：10月13日(日)、27日(日)

■時間：13:00

■定員：各日15名

### ① 蒸気機関車9号 特別展示

現在、非公開となっている蒸気機関車9号を3日間限定で特別公開! ※ご乗車いただけません。

■開催日：9月21日(土)、10月5日(土)、20日(日)

■会場：SL東京駅

※展示時間はHPをご確認ください。

### ② 中井精也 フォトピクニック&トークショー

人気の鉄道写真家、中井精也氏の撮影会とトークショーです。

■開催日：10月6日(日)

フォトピクニック(撮影会)

■時間：9:45 事前電話予約制

■定員：20名

公開講座・トークショー

■時間：13:00

■会場：三重県庁舎 彩の間

どなたでもご参加いただけます



### ③ スギテツ コンサート with 名鉄プラスバンド

全国で活動しているクラシックデュオ・スギテツによるコンサート。鉄道×クラシックの不思議な音楽をお楽しみ下さい。

■開催日：10月26日(土)

■時間：①11:30 ②13:30

■会場：①SL名古屋駅 ②聖ザビエル天主堂

※雨天の場合、SL名古屋駅での公演は中止。

## 「きもの」で歩く明治村

11月2日(土)～12月1日(日)

※期間中、和服でご来村の方は入材料半額。

#### ① きものショー

■開催日：11月9日(土)

■時間：11:00 14:00

■会場：呉服座

■出演：(財)民族衣裳文化普及協会

#### ② きもの着付体験

紅葉の美しい明治村を、素敵なきものので散歩してみませんか?(女性限定)

■開催日：11月23日(祝)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)

■時間：13:00～17:30

■協力：(財)民族衣裳文化普及協会

■料金：1,000円(90分) (入材料別途必要)

#### ③ 紅葉茶席

秋の日本庭園での野点です。お気軽にご参加ください。

■会場：日本庭園

茶席は期間中の土日祝日開催

※きもの着付体験・紅葉茶席は悪天候の場合、中止となる場合があります。



期間 平成25年9月21日(土)～12月1日(日)

## 伝統芸能を楽しもう

日本各地で大切に受け継がれてきた舞踏や音色が繰り出す伝統「美」をお楽しみください。

「あかりの明治村」開催日は夜間公演あり。

### ① 大道芸 9月21日(土)、28日(土)、11月4日(休)、16日(土)

■時間：①11:30 ②13:00 ③14:30 ■会場：札幌電話交換局前

■時間：①12:00 ②13:30 ③15:00 ■会場：呉服座前

■出演：石原 耕(がまの油売り等)、伏見 龍水(江戸独楽)

### ② 江戸糸あやつり人形 9月29日(日)、11月10日(日)、17日(日)

■時間：13:00、15:00 ■会場：呉服座 ■出演：上條 充

### ③ 津軽三味線 9月23日(祝)、11月30日(土)、12月1日(日)

国内外で演奏活動を展開する津軽三味線界の若き獅子、山口晃司が明治村に再登場!

■時間：9月23日(祝) ①13:00 ②15:00

11月30日(土) ①13:00 ②15:00

12月1日(日) ②15:00 ③18:00

■会場：呉服座

■出演：山口晃司

### ④ 鬼剣舞 10月12日(土)、20日(日)

■時間：①11:00 ②14:00 ■会場：呉服座

■出演：京都鬼剣舞

### ⑤ 阿波踊り 10月13日(日)、27日(日)

■時間：①12:00 ②14:00 ■出演：阿波踊 太閤連

■会場：レング通り・食道楽のカフェ横芝生広場

### ⑥ 五箇山 こきりこ節 10月19日(土)

世界遺産の村、五箇山に古くから伝わる民謡「こきりこ節」。独特な楽器を打ち鳴らして踊り舞う古式ゆかしい貴重な芸能をご紹介します。

■時間：①13:00 ②14:30

■会場：呉服座

■出演：越中五箇山筑子唄保存会

※会場・時間等は天候等の都合により変更する場合があります。

催事カレンダー 催事名の前の●番号はカレンダーの番号と対応しています。

9月	10月	11月	12月
21 22 23 土 日 月 ●1 ●4	28 29 土 日 ●5 ●2	5 6 土 日 ●1 ●2	12 13 14 土 日 月 ●6 ●7 ●6
19 20 土 日 ●4 ●1	26 27 土 日 ●3 ●7	2 3 4 土 日 月 ●のりものイベント	9 10 土 日 ●2 ●1 ●2
16 17 土 日 ●8 ●8	23 24 土 日 ●2 ●2	30 1 土 日 ●3 ●3	7 8 土 日 ●3 ●3
●1 ●3	●1 ●2	●5 ●7 ●7 ●1	●2 ●1 ●2 ●8 ●3 ●3
		●きもので歩く明治村 ●3 ●3 ●3	●2 ●2 ●2 ●2

## あかりの明治村 延長開村 19:00まで

昼間とはまた違った秋の夜長を明治村で過ごしませんか。美しくしっとりとした雰囲気をお楽しみいただけます。

■開催日：11月2日(土)、3日(祝)、23日(祝)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日) ※当日の天候により延長開村中止の場合があります。

### ① 品川燈台特別公開

現存最古の洋式燈台である品川燈台(重要文化財)の内部を特別公開する他、海洋少年団によるロープワークの実演等を行います。

■開催日：11月2日(土)、3日(祝)

■協力：第四管区海上保安本部 社団法人 燈光会 大日本アガ株式会社



### ② 紅葉ライトアップ

■開催日：11月23日(祝)、24日(日)、30日(土)、12月1日(日)



イルミネーション&ライトアップ

「あかりの競演」

あかりの明治村開催日

5丁目で多種多様な灯りを使用し、幻想的な空間を演出します。

錦絵行燈 (2丁目レング通り)

あかりの明治村開催日

錦秋の美酒

あかりの明治村開催日

秋の夜長、おいしいお酒と肴でお楽しみください。



### ⑦ 御陣乗太鼓 11月2日(土)、3日(祝)

石川県輪島に伝わる「御陣乗太鼓」。怪異な面をつけた打ち手の身振りやダイナミックな太鼓のリズムが創りあげる舞台は迫力満点。

■時間：①15:00 ②18:00

■会場：呉服座

■出演：御陣乗太鼓保存会

### ⑧ 雅楽 11月23日(祝)、24日(日)

■時間：①15:00 ②18:00

■会場：呉服座

■出演：多度雅楽会



### 特別展

## イギリスの近代化遺産

期間中

■場所：北里研究所本館・医学館

### 「実はそれ、ぜんぶ三重なんです!」 in 明治村

期間中



今年20年に一度の伊勢神宮遷宮の年です。実は遷宮と明治村、「深〜い」関係があるんです!

■会場：宇治山田郵便局舎

■協力：三重県

### 明治体感パートナー・松山フェア

期間中



明治村の「明治体感パートナー」の松山市の魅力を紹介!

■会場：三重県庁舎

■協力：松山市

## 明治村写真コンテスト 入賞作品展

■会場：東山梨郡役所2階 期間中

## 秋のウェディングフェア

■日時：11月24日(日)

■会場：聖ザビエル天主堂、他

■お問い合わせ：0120-78-2205

## 明治村たてもの講座

■日時：10月19日(土)・11月16日(土)

■時間：11:00～12:00

■会場：第四高等学校物理化学教室

## 明治村 子親はいく〜秋〜

期間中

※写真はイメージです。 ※催事内容は予告無く変更・中止する場合がございます。詳しくはお電話でお問合せいただくか明治村公式HPをご覧ください。

お問い合わせ先

http://www.meijimura.com または 0568-67-0314

## 制服からみる日赤看護師養成

●日本赤十字社中央病院病棟（4丁目35番地）



一個、婦長二個、救護看護婦監督三個と規定されていました。両胸の部分には細かなひだがつけられ、左胸部分には勳章をつける糸が施されています。大きめのプリーツがつけられたスカートは、ふくらはぎほどの丈です。看護衣は制服と同じような形をしています。開襟で左胸とスカートの両脇にポケットが付いています。制服に比べ看護衣は、動きやすく実用的な形になっています。

なぜこの制服が作られるようになったのか、日本赤十字社における看護師養成と明治以降の女学生の服装の歴史から探ってみたいと思います。

四丁目三十五番地「日本赤十字社中央病院病棟」は、片山東熊により設計された軽やかでリズムミカルに作られた軒下の飾りには、かわいらしい雰囲気があります。その建物内に紺と白の二点の衣服が展示されているのをご存知でしょうか。紺色の衣服は、大正十五（一九二六）年から使用された日本赤十字社の看護救護員の制服（写真1）、白色の衣服は昭和四十年代に使用された看護衣です（写真2）。

制服は、上下が一緒になったワンピース型でウエスト部分にベルトをつけています。両襟の中心に赤十字マークの衿留を、左襟には桐花章と呼ばれるバッジをつけ（写真3）、このバッジは看護婦



写真1 大正15年制定の制服

写真2 昭和40年代の看護衣



写真3 衿留と桐花章

規則に準ずる姿が確認できます（写真4）。その後、日本赤十字社の看護師養成は地方へと広がります。明治二十六年（一九一三）年二月、支部として初めて広島県で看護師養成が始まり、その後大阪、京都と続きました。日本各地で養成が始まる傍ら、問題となったのが教育方針の統一でした。翌年にはまず、教育家の高山盈が看護生徒及び病室監督として就任し、明治三十一（一九一八）年には従来の規則を改正、新たに「本準備看護婦規則」と「支部準備看護婦規則」を制定しました。さらに佐野常民社長より「日本赤十字社看護婦訓戒」が發布され、日赤看護師として守るべき二十か条の要件があげられました。教育方針の統一として精神教育の指針

を述べることで日赤看護師としてあるべき姿が示されることとなったのです。翌年、それまでは看護衣つまり作業時に着用する衣服のみを規定していましたが、それとは別に式典や送迎、勤務上の外出時に着用するための制服が初めて規定されました。佐野常民社長から訓戒が出された翌年に制服が規定されたのは、日赤看護師としての意識を高める効果があったと想像されます。このとき規定された制服は濃紺色の上下二部式（ワンピース）

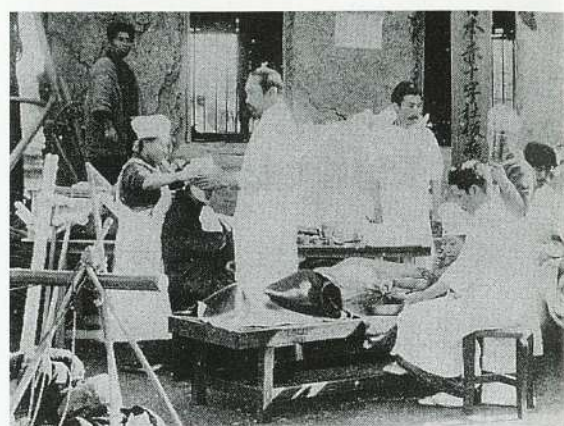


写真4 濃尾大地震の救護活動（拡大）

が、明治三十年代に入ると女袴（スカート状の袴）が考案され、さらにドイツ人医師のベルツが「女子の体育」と題した講演で袴の着用を推奨したことから女袴が全国的に普及することとなりました。

その後、このような衣服の流れを汲み、日本赤十字社は明治四十二（一九〇九）年に「支部救護員養成所規則」を定め、各支部での養成のさらなる統一を図りますが、その翌年に改正された服制では、授業中・実務練習中には看護衣を私用外出時には制服の着用を指示するように定められました。「日本赤十字社史稿」によると日露戦争中、救護員の服装がそれぞれ異なっていたために、団体としての秩序に欠けてしまったことが記載されています。制服は、団体としての意識を強め、その職分をつくというという心を育む効果を与えるとともに、外に対しては団体としての姿を示す力を持つていと言われています。つまり、この規則から、勤務以外においても日本赤十字社の一員であるという意識を持ち行動することが求められたと考えられます。

大正時代に入り、東京府下では一九二〇年以降、二十五の女子教育機関が洋装制服を採用します。洋装制服の採用は、女学校における良妻賢母教育の一環として洋裁授業が取り入れられ、授業時間に制服の製作が行なわれたことも関係したと考えられます。その流れを汲んでか大正十三（一九二四）

年には日本赤十字社も「女救護員制服改正取調委員会」を設置し改正を検討し始めます。二年後の大正十五（一九二六）年、横浜の婦人服専門洋商によって、明治村で所蔵されている制服が製作されました。この制服が制定される前年の大正十四（一九二五）年には「救護員十訓」として「博愛ニシテ懇篤親切ナルヘキコト／＼誠実勤勉ニシテ和協ニカムヘキコト／＼忍耐ニシテ寛裕ナルヘキコト」など日常守るべき訓戒を規定します。そのなかに「温和ニシテ容儀ヲ整フヘキコト」とあり、日本赤十字社の一員として勉学に励み、博愛の心を持つことに加え、身なりを整えることの重要性を説いています。

このように日赤看護救護員の制服は、看護師養成のための意識統一に則し、当時の女学生の制服の流れを反映しながら変遷していったことがわかります。この制服は日赤看護婦養成所へ通った生徒たちの日赤の一員として、また看護に従事する者としての心構えを示しているといえるのではないのでしょうか。

### 参考文献

- 『明治四十一年至大正十一年 日本赤十字社史稿 下巻』 日本赤十字社 一九二九年
- 今和次郎『服装研究 今和次郎集第八巻』 ドメス出版 一九七二年
- 『日赤百年』 サンケイ新聞社 一九七七年
- 『日本赤十字社看護婦養成百周年記念誌』 日本赤十字社衛生部 一九九一年
- 桑田直子『女子中等教育期間における洋装制服導入過程―地域差・学校差・性差―』 『教育社会学研究 第六十二集』 日本教育社会学会 一九九八年
- 難波知子『近代日本における女子学校制服の成立・普及に関する考察―教育制度・着用者・制服製作に注目して―』 『人間文化論叢 第九巻』 お茶の水女子大学 二〇〇六年
- 日本赤十字社ホームページ  
http://www.jrc.or.jp/nurse/news/14/Vcms4\_00003090.html

※二〇〇二年より法律により名称が「看護婦」から「看護師」に改正されました。文中では固有名称を除いて看護師と表記しています。